

流域下水道事務所 霞ヶ浦浄化センター

| | |
|----------------|--|
| 施設名 | 流域下水道事務所 霞ヶ浦浄化センター 〒300-0032 土浦市湖北2-8-1 ☎: 029-823-1621 FAX: 029-823-1626 |
| 所要時間 | 約1時間30分 |
| 1回あたりの 対応人数 | 30～40名（最高80名程度まで可能） ※見学が集中している時期は、2団体同時に見学していただくことがあります。 |
| 見学内容 | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">開始時間 10分前にお越し下さい。</div> 荷物はバスに置いて下さい。 （学校でしおり等を用意した場合は、しおり・筆記具・ハンカチ・探検バック等をお持ち下さい） ※小雨等の場合、合羽を着ていただきます。 ↓ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">大会議室にて説明（40分）</div> 当浄化センターと下水処理のしくみについてVTR、パンフレットにより説明 ↓ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">処理場内を見学（40分）</div> 中央管理室 ↔ 沈砂池 ↔ 最初沈殿池 ↔ 生物反応槽 ↔ 最終沈殿池 ↔ 観察（処理水と水道水の比較） ↔ 霞ヶ浦への放流口 ↓ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">玄関ホール（10分）</div> 質問を受け付けます。 ※見学ルート 晴天☀ 小雨 … 上記のルートになります。 雨天…………… 最終沈殿池までの見学になります。 残りの施設については、大会議室で説明を行います |
| 昼食 | 晴天時、雨天時ともに大会議室（80席程度）で利用可能 |
| バリアフリー | 場内はバリアフリーになっておりません。 |
| 留意事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・連絡必要事項 来場時間が遅れそうな場合は、上記の流域下水道事務所へご連絡下さい。 ・車椅子での見学について 見学ルートには階段、段差が数カ所ありますが、下水処理場の性質上、場内はバリアフリーになっておりません。車椅子での見学は難しいと思われるので、足の不自由なお子さんは引率の方がおぶってあげる等の対応をお願いいたします。 ・服装について 足元の悪い場所を歩くため、動きやすい服装で来て下さい。（サンダルNG、底の平らな靴等） |

《湖上体験学習の前に》

○持ち物

- ・処理場では書くことが難しいため、話を聞くことと観察を中心に行います。
- ・荷物はバスの中に置いてきてください。
- ・学校でしおりを用意した場合は、しおり、筆記用具、探検バック等をお持ちください。
- ・小雨の場合はカッパを着て場内を歩きますので、ご用意ください。

○学習内容について

処理場内ではスタッフ1名が説明にあたります。1名のため、個別の質問にすべて対応できない場合があります。最後に質問の時間をとりますので、そのときに質問をお願いします。

見学内容については、大会議室で説明いたしますが、バスの中などで事前に学習して頂くと理解しやすいと思います。大会議室ではVTR、パンフレットにより説明します。ノートをとることができます。希望者には見学者用パンフレットを事前にお渡ししますので、流域下水道事務所までご連絡ください。

(中央管理室)

処理場にある数多くの機械を管理している部屋です。

(沈砂池)

汚れた下水が最初に流れてくる場所です。汚水の様子と汚水の中のゴミを取り除く仕組みを見学します。建物（沈砂池棟）の中は急な階段がありますので、足元にご注意ください。

(最初沈澱池・生物反応槽)

沈砂池で取りきれなかった小さなゴミを最初沈澱池で取り除いた後、生物反応槽では、微生物が水のよごれを食べてくれます。ここは床下を汚水が流れているため、直接汚水を観察することはできません。生物反応槽の一部が見学できます。微生物について説明を行います。

(最終沈澱池・観察（処理水と水道水の比較）)

最終沈澱池では、汚れを食べた微生物のかたまりを取り除きます。ここでは水の様子を観察できます。最終沈澱池をでた後、処理水と水道水を比較します。

(霞ヶ浦への放流口)

当浄化センターで処理した水は、霞ヶ浦へ放流しています。最後に霞ヶ浦への放流口付近を見学します。

○見学するにあたって

当浄化センターは下水の処理場ですので、季節・天候等によっては独特の臭いがします。臭いが強い時はハンカチ・タオル等で鼻を覆って見学してください。「くさい」と思うこと、言ってしまうこと、顔をしかめることは、仕方のないことです。しかし、においのことで参加者が当所の見学案内スタッフの説明を聞かないことがありました。当所の処理場が「人間が生活するために出した汚水を浄化処理して霞ヶ浦に放流している」と案内説明しておりますが、事前に下水処理場を見学するにあたっての目的を、再確認して頂ければと思います。

当所の見学案内スタッフも下水道の重要性を参加者の皆様にご理解頂けるように努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。